

拠出金名: 南部アフリカ開発共同体拠出金

分担金・義務的拠出金の有無		有(所管官庁)		無	
当該機関等に対する分担金を含めた平成19年度の拠出総額				2,489千円	
国際機関等名	南部アフリカ開発共同体 (英文名称・略称) Southern African Development Community(SADC)				
種別	国連(事務局)	国連(基金・計画)	国連専門機関	その他	
所管官庁担当局課名	外務省中東アフリカ局アフリカ第二課				
最近3年間の我が国支払額及びODA率					
単位	邦貨 (千円)	外貨1 (千米ドル)	外貨2 (千)	レート	ODA率(%)
平成19年度	2,489	21		1米ドル = 116円	100
平成18年度	3,402	31		1米ドル = 111円	100
平成17年度	0	0			
当該拠出金の目的・用途等	HIV/AIDS対策のワークショップの実施等に利用されている。				
拠出上位5ヶ国・地域・機関等 (2006年のもの)			国際機関等の財政 (2007年度決算)(米ドル)		
	国名	金額 (千米ドル)	拠出率(注) (%)		
1位	EU	5615	42.5	当該年度の収入 45,429,110	
2位	英国	2207	16.7	当該年度の支出 43,809,110	
3位	アフリカ開発銀行	1202	9.1	次年度への繰越 1,620,000	
4位	ベルギー	1179	8.9	会計検査機関名	
5位	スイス	969	7.3	独立会計検査評議会	
日本 順位:13位 拠出率:0.2%			(現在の構成員の出身国: ボツワナ・モザンビーク・ジンバブエ)		
当該機関等に対する我が国としての評価 (当該機関等の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)					
平和の定着、貧困削減、エイズ等の感染症対策、インフラ整備など貿易・投資環境の整備等のアフリカ開発のための取組に当たっては、国ごとの対応のみでは不十分であり、国境を越えたより広域的な対応が不可欠である。SADCは、我が国が南部アフリカ地域における地域協力を支援する場合のみならず、対アフリカ外交を推進する上での重要なパートナーである。					
合理化、機能強化のための改革が行われているか。 行われている場合はその現状と我が国としての評価					
2006年10月の臨時首脳会合にて事務局の改革が決定され、具体的に (1)適切な基準を用いた職務評価制度の導入 (2)COMESA、AU等の地域機構と均衡を保った給与制度の導入を通じた有能な人材の確保 (3)SADCの効率的運用を念頭に置いた、SADC内各組織の連携体制の評価 (4)組織機構と給与制度の変更がもたらすSADCへの財政的影響の評価 (5)事業とその要員の査定制度の設定 を実施しており、合理化、機能強化のための改革として評価できる。					
邦人職員数	0人		当該機関全体の職員数	175人	
うち幹部以上	うち 0人		及び邦人職員が占める率	0%	
邦人職員が占めている幹部ポスト					
ポストの名称		職員氏名		備考	
なし					
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画					
未定					

(注) 我が国と各国とは会計年度が異なるため、拠出率については暦年となっている。